

〈日本・スロヴェニア友好プロジェクト〉

阪田知樹

Tomoki Sakata

ブラームス

カーキ・ソロムニシヴィリ 指揮

スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団

ピアノ協奏曲 第1番 & 第2番

Op.15

Op.83

ほか

重量級プログラム 一挙演奏!!

SAKATA × BRAHMS

- Kakhi Solomnishvili, conductor & Slovenian Philharmonic Orchestra -

©Daria Strav Tiu

©Ayusret

©Izok Zupan

2025.11.28 (金) 19:00開演
18:00開場 21:00終演予定

東京芸術劇場コンサートホール

7:00p.m., Friday, November 28, 2025 at Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

JR・東京外口・東武東上線・西武池袋線「池袋」駅西口 徒歩約2分

S¥15,000 A¥12,000 B¥9,000 C¥6,000 (税込)

※料金には消費税が含まれています。 ※特別割引料金については裏面をご確認ください。 ※先行発売で満席となった場合は、以降発売されない場合がございます。

[お申込み] ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

東京芸術劇場ボックスオフィス(9/6～) 0570-010-296 www.geigeki.jp チケットぴあ t.pia.jp (Pコード:299-535)

イープラス eplus.jp ローソンチケット l-tike.com (Lコード:33753)

主催:ジャパン・アーツ 協賛:YASKAWA 後援:スロヴェニア共和国大使館 協力:株式会社ネスティ

一般発売
6.28 (土)
10:00～

6月21日(土)10:00～
ジャパン・アーツぴあ
オンラインチケット先行発売



文化庁

令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

クラシック音楽を生で聴きに行く醍醐味は何か？

それは一期一会の化学反応を体験することだ。

スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団と、昨年首席指揮者に就任したばかりのカーキ・ソルムニシヴィリ、そこに阪田知樹が加わった時、若さと異文化からのアプローチが伝統の上で反応する。互いを刺激し、創り上げていく彼らの共演は、さる4月リュブリャナの聴衆や楽団関係者をも興奮させた。

スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団は1701年、バッハがまだ学生の頃に創設され、ドイツ音楽の発展と共に育ってきた。例えば今回聴けるブラームスもこの楽団のソサエティ会員だったが、その時には既に150年以上の伝統を誇っていた世界最古のオーケストラなのだ。

旧ソ連のジョージアで、ロシア音楽を基礎とした教育を受けたソルムニシヴィリは「ドイツ音楽の構築力をこの楽団で磨かせてもらっている」と話すが、楽団側も、慣習的演奏に囚われず新しい視点で分析した表現方法に、新発見を得ることもあるだろう。リュブリャナでの終演後、指揮者が突然出した指示で驚かせたことをコンサートマスターに詫げる場面に偶然居合わせたが、その二人の様子から、最高の表現を追求する結束が感じられた。

そして阪田知樹のピアノが、そんな改革期の楽団に繊細さと安定感を与える様子は、和歌や能の日本伝統文化を想起させる。ピアニストでもあるソルムニシヴィリは、まるで自分が弾いているかのように熱くなると、阪田も指揮の経験を生かし、弾き振るすかのように落ち着かせる。各々の役割を超えて、ただ溶け合って最上の音楽を求めるのだ。阪田のピアノが美しく歌うと、オーケストラも研ぎ澄まされる。速度が上がっても阪田は皆を走らせず、冷静さを保ちながら全員でクライマックスに達し、聴衆の心には独特の結晶が残った。

阪田は、2023年にラフマニノフ、今年1月はリストの全協奏曲をまとめて演奏し、今回の日本ツアーではブラームスの両協奏曲を続けて聴けるのだ。リュブリャナでは第1番を聴いただけであれだけ満足したのだから、2曲続けて聴いたら頭が飽和状態になるかもしれない。帰り道は注意散漫にならないよう、くれぐれもお気をつけいただきたい。

中東生(スイス在住ジャーナリスト)

SAKATA × BRAHMS

- Kakhi Solomnishvili, conductor & Slovenian Philharmonic Orchestra -

©Amster



カーキ・ソルムニシヴィリ(指揮) Kakhi Solomnishvili, Conductor

1990年5月9日、ジョージアのトビリシに生まれる。ソルムニシヴィリの音楽人生は、コンサートとフェスティバルに活発に参加するピアニストとして始まった。2011年にトビリシ・オペラ・バレエ劇場のアシスタント指揮者の役割を担う。2014年より同劇場の指揮者を務めている。2016年からジョージア・フィルハーモニー管弦楽団との活発な共演活動に従事し、2017年に指揮者に就任する。2023年よりスロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団と活発に共演し、2024年には首席指揮者に就任。その他にもポーランド・バルティック・フレデリック・ショパンフィルハーモニー管弦楽団、イスラエル・シンフォニーエッタ、ジョージアン・シンフォニーエッタ等、様々な国立オーケストラや国際的なオーケストラと共演している。



©Izsek Zupan

スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団

Slovenian Philharmonic Orchestra

前身であるアカデミア・フィルハーモニー・ソルムニシヴィリ、初代スロヴェニア・フィルハーモニーと共に、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団は同種の団体としてはヨーロッパで最古の一つであり、豊かな伝統を誇る。1947年に本格的に動き出し、それ以前の1世紀半の間フィルハーモニー・ソサエティによって特徴づけられた豊かなコンサートの日常をよみがえらせた。カルロス・クライバー、リッカルド・ムーティ、シャルル・デュトワ、ダニエル・ハーディング等の客演指揮者のみならず、スロヴェニア人常任指揮者、さらに国際的な名声を誇る偉大なソリスト達に負うところが大きい。2019年からはリュブリャナ・フェスティバルのレジデント・オーケストラを務めている。

阪田知樹 (ピアノ) Tomoki Sakata, Piano

2016年フランク・リスト国際ピアノコンクール第1位、6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。東京芸術大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学大学院ソリスト課程に在籍。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クリューランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンゲン国際ピアノオリンピックでは日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20カ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」を2022年5月に、「夢のあとに」を2023年7月に、阪田の作曲した「アルト・サクソフォーンとピアノのためのソナチネ」が23年11月に音楽之友社より出版。国内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞、第20回ベストデビュータレント賞を受賞。

〈特別割引チケットのお知らせ〉

ジャパン・アーツびあにて受付

◎シニア割引(公演当日65歳以上):S席を¥14,000、A席を¥11,000でお求めいただけます。

◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。ジャパン・アーツびあコールセンターへお問合せください。

スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団 来日公演

11月24日(月休) 横浜みなとみらいホール	[問] 神奈川芸術協会 045-453-5080
11月27日(木) 東京芸術劇場コンサートホール	[問] ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212
11月29日(土) ザ・シンフォニーホール	[問] ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
11月30日(日) 武蔵野市民文化会館	[問] 武蔵野文化生涯学習事業団 0422-54-2011

〈次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください〉①やむを得ない事情により、出演者・曲順・曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。指定のお席でご鑑賞ください。⑦客席内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

X (Twitter) @japan_arts